

様式 a 令和4(2022)年度 日の出保育園運営評価 (令和5年1月実施) 集計と考察

上段：今年度 下段：前年度 A(そう思う) B(どちらかという、そう思う) C(どちらかという、そう思わない) D(そう思わない)

項目	質問	評価				考察
		A	B	C	D	
保育理念	① 経営方針は、目標や重点などが分かりやすく示されている。	72	24	4	0	<p>① 今年度は「保育園経営グランドデザイン」を作成し、全職員のベクトルをそろえて保育園運営にあたってきましたが、質問①②③でC評価があったのは前年比からも大きな課題です。</p> <p>② ④について「保育園経営グランドデザイン」をHPにアップして周知しましたが、引き続き、様々な機会をとらえて、本園がめざす姿や重点として取り組むこと等を伝えていきます。</p> <p>③ 「明日も〇〇先生に会いたいな」「日の出保育園に子どもを預けてよかったな」と思われる保育園運営に努めましょう。</p>
		61	39	0	0	
	② 経営方針は、日の出保育園らしさが出ている。	68	28	4	0	
		57	43	0	0	
	③ 経営方針を読むと、社会の要請や保護者の願いがわかる。	56	36	8	0	
		57	43	0	0	
	④ 保護者に対し、経営方針を伝えている。	28	64	8	0	
		39	52	9	0	
	⑤ 経営方針のねらいは、理解している。	44	52	4	0	
		48	48	4	0	
保育	① 全体的な計画は、園児の発育に即した内容である。	68	32	0	0	<p>① PDCAサイクルで回していき、引き続き、保育の改善充実を図っていきましょう。</p> <p>② 子どもがもつ困り感は三者三様です。⑤の「一人一人の子どもの特性に合わせた保育の工夫」が、今後ますます求められてくると予想されます。</p> <p>③ ④が高評価です。言うまでもなく、保育士(大人)は相手意識をもつこと、子どもの気持ちを想像すること、子どもの立場に立って保育にあたるのが肝要です。</p> <p>④ 子どもとの確かな信頼関係が保育効果を高め、質の高い保育につながり、大きな成果を上げることになります。</p>
		68	32	0	0	
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を行っている。	58	37	5	0	
		53	47	0	0	
	③ 「十の育ちの姿」を意識して保育に当たっている。	45	50	5	0	
		32	68	0	0	
	④ どの子どもに対しても分け隔てなく保育に当たっている。	70	30	0	0	
		47	53	0	0	
	⑤ 一人一人の子どもの特性に合わせて保育を工夫している。	40	60	0	0	
		42	58	0	0	
	⑥ 環境の構成を意識した保育を工夫している。	35	60	5	0	
		42	58	0	0	
	⑦ 素材・用具を有効に活用している。	40	55	5	0	
		53	47	0	0	
	⑧ 月間指導計画は、季節に合わせたメリハリのある計画である。	56	44	0	0	
		47	53	0	0	
	⑨ 月の反省・評価を基に、保育の改善に努めている。	35	60	5	0	
		47	53	0	0	

子どもの発達援助	行事	① 行事の種類や実施回数は適切である。	70	15	15	0	① 子どもたちにどんな力を身につけさせたいかを全職員で共有し、行事を創り上げていくことで、その意義もより確かなものになります。	
			63	32	5	0		
		② 行事のねらいが達成されるように創意工夫している。	60	40	0	0		
			58	42	0	0		
	③ 子どもは達成感、成就感を感じていると思う。	25	75	0	0			
		42	58	0	0			
	④ 行事は、保護者の願いや期待に応えている。	40	60	0	0			
		37	58	5	0			
	健康安全	① 組織的に健康安全・保健対策を講じている。	65	35	0	0		① 保護者や社会が保育園に最も求めていることが、「安全・安心」と捉えています。子どもの安全・安心を脅かす事案が起こっていますが、けっして「対岸の火事」ではなく、自分事としてとらえることが肝要です。 ② 職員全員が子どもの命を預かっているという自覚と緊張感を持つとともに、保護者が安心してお子さんを預けることができる安心・安全な保育園づくりを組織的に進めていきましょう。 ③ 上記二つのことから、保育園と保護者との信頼関係がより確かなものになると考えます。
			53	47	0	0		
		② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて実施している。	90	10	0	0		
			58	42	0	0		
	③ 必要な習慣や態度の育成について、家庭への啓発を行っている。	40	50	10	0			
		53	47	0	0			
	④ 園児の安全確保のため、地域や関係機関等と連携を図っている。	30	60	10	0			
		32	58	11	0			
クラス経営	① クラス目標は、経営方針に基づいて設定している。	70	30	0	0	① 前年度に比べて、全体的に評価が高くなっています。PDCAサイクルが浸透している結果の表れです。このサイクルでクラス経営を回していきましょう。 ② チームで保育やクラス経営にあたる上で、日ごろからのスタッフ間の双方向のコミュニケーションが大切です。		
		53	47	0	0			
	② クラス経営案は、定期的に評価・改善、見直しを図っている。	45	50	5	0			
		35	60	5	0			
	③ 役割分担、役割交替によるチーム保育を行っている。	55	40	5	0			
58		37	5	0				
④ 子どもの育ちを把握する記録や資料を整えている。	50	45	5	0				
	39	61	0	0				
⑤ 週案、月案は、メリハリのある内容を工夫している。	47	53	0	0				
	32	68	0	0				
公開	① 保育の様子が積極的に公開されている。	81	19	0	0		① 質問①と③は大変高い評価結果となっています。 ③については親御さんに保育士と面談してよかったと思わせる懇談会にすることが大切です。 キーワードは、「寄り添い」「双方向」「共感」「共通理解」…。	
		68	32	0	0			
	② 保育参加日は、ねらいに即した内容になっている。	53	47	0	0			
		37	58	0	5			
	③ 保護者面談は、子どもを理解する機会として生かしている。	70	30	0	0			
		74	26	0	0			

保護者への支援	信頼関係	① 保護者との信頼関係づくりに留意している。	55	35	10	0	① 保護者との信頼関係があれば、ほとんどの問題は解決する と考えます。信頼関係の構築のためには、保育園のめざす姿 や保育方針を保護者に理解いただくとともに、保護者の願い に応え、その気持ちや悩みを想像し寄り添うことが肝要です。	
			58	42	0	0		
		② 一人一人の子どもについて、家庭の養育方針などを把握している。	35	55	10	0		
			26	58	16	0		
		③ 保護者の話を最後まで聞くように心がけている。	84	16	0	0		
			74	26	0	0		
	子育て支援	① 送迎の際に、保護者に進んで話しかけるようにしている。	40	55	5	0		① ②については、昨年度に比べて降園時保護者同士で玄関外 で会話したり、花壇の花を眺めたり、一緒に写真を撮ったり する光景が園長室から見られるようになりました。  ② 今年度の事例からも市の子育て支援センターや児童相談所 等の専門機関との連携がますます求められてくることでしょう。
			53	47	0	0		
② 保育園は、親同士が交流する機会を提供する必要がある。		20	60	20	0			
		26	58	11	5			
③ 保護者の子育ての悩みを理解し、相談できるように心がけている。	45	55	0	0				
	21	74	5	0				
④ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図っている。	45	50	5	0				
	37	58	5	0				
研修	① 保育指針や保育課程に基づく研修が進められている。	74	26	0	0	① この項目は全体的に高い評価結果となっています。特に、 全保育士によるプレゼンテーション研修は、主体的・能動的 な研修となり、成果は多々あったと思います。  ② プレゼン準備に要した一連の取組は、自身の保育実践の 「振り返り」になったのではないのでしょうか。まさに今年度 のテーマ「振り返り」が園内研修を通して、具現化されたた いことです。  ③ 自ら課題を見つけ主体的に取り組む研修と仕方なくやらさ れている研修とでは、その成果に大きな差が出るのは言うま でもありません。職能向上のための研修はどの職種におい ても行われています。研修を通して自分の仕事をスキルアップ させ、研修成果が日ごろの職務に活かされるわけですから、 研修に臨む意識や姿勢を今一度考えてみてください。		
		42	58	0	0			
	② 園内研修の計画・運営は適切である。	70	25	5	0			
		47	53	0	0			
	③ 研修の成果が、日々の保育に生かされている。	60	40	0	0			
		42	58	0	0			
	④ 各種研究会、研修会、講習会等に参加できる職場である。	70	25	5	0			
		47	47	5	0			
	⑤ 研修の成果は、職員に還流されている。	55	45	0	0			
		42	58	0	0			
組織・運営	① 職務内容が明確で、能率的な運営組織である。	50	46	4	0	① 今年度はこれまで以上に「チーム」を意識し、機動的な組 織による園運営に力を注いできました。しかし、左記の自由 記述から、まだまだ不十分と捉える人がいるようです。 チームが機能するとは、第1段階；個人→第2段階；各ク ラス・各園務分掌→第3段階；主任会議等会議・ショートミ ーティング→第4段階；職員会議→第5段階；全体、 各段階においてメンバー同士が意思の疎通をしっかりとし、 チームとして機能するということ。 第5段階(全体)のチーム力向上のためにも、第2・3段階 のチームワークを大事にしたいところです。		
		50	50	0	0			
	② 職員の配置は、適材・適所である。	42	46	12	0			
		38	54	8	0			
	③ 仕事の分担・割り当ては適切である。	35	58	8	0			
		33	63	4	0			
	④ 各種会議・打合せの回数、時間、内容など、運営は適切である。	38	54	8	0			
		42	54	4	0			
⑤ 日常的に、職員の協力体制が良好である。	38	50	12	0				
	42	42	17	0				
⑥ 職員間の「報告・連絡・相談」による意思疎通が図られている。	23	58	19	0				
	29	58	13	0				
保育を支える組織的	① 公文書收受 発送 処理を適切に行っている。	76	24	0	0	① アレルギー対応食については、管理栄養士を中心に、 調理員や保育士との盤石な協働体制による丁寧で、きめ 細かな対応に感謝申し上げます。 誤食・誤飲は重大事故となりますので、引き続き緊張感 を持ってあたります。		
		57	43	0	0			
	② 各表簿は、適切に処理、管理されている。	68	32	0	0			
		57	43	0	0			
	③ 各種会計は、複数体制で適切に処理している。	64	36	0	0			
		43	57	0	0			
	④ 園児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている。	77	23	0	0			
		61	39	0	0			
	⑤ アレルギー対応食は、円滑に提供されている。	88	12	0	0			
		67	33	0	0			

施設・設備	① 施設設備の安全点検を計画的に行っている。	58	42	0	0	<p>① 今年度は、使われていないプールの処分とスーパーエアプールの購入、園庭内プチ農園の設置、消耗著しい砂場・園庭遊具のリニューアル等、大幅に整備しました。また、遊具の保守点検・メンテナンスも行いました。子どもの健やかな育ちのために有効に活用してください。</p> <p>② 備品や用具は丁寧に取り扱いましょう。</p>
		58	42	0	0	
	② 子どもの遊具や用具は使いやすいように整理・保管している。	58	42	0	0	
		58	42	0	0	
	③ 職員用の備品や用具は、使いやすいように整理整頓されている。	65	31	4	0	
		50	50	0	0	
	④ 玄関は施錠し、不審者の侵入を防いでいる。	62	27	12	0	
		38	58	0	4	
連携	① 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で情報を発信している。	90	10	0	0	<p>① 「開かれた保育園づくり」を進める上でも、情報発信に努めましょう。</p>
		74	21	5	0	
	② 園の行事や運営の様子を地域社会に知らせている。	53	42	5	0	
		23	68	9	0	
	③ 他園との連携の必要性を感じる。	35	60	0	5	
		12	76	6	6	
	④ 小学校との連携に取り組んでいる。	53	37	11	0	
		24	65	6	6	

働 き が い	① 働きがいを感じられる職場である。	46	42	12	0	① 質問①②は昨年度に比べ評価が低くなっています。 施設長として「働きがいのある職場」「この仲間と働くことができてよかったと思える職場」「職員として学ぶことが多々ある職場」を追求し続けたいと考えます。
		46	46	8	0	
	② 悩みや相談事を話せる人が職場にいる。	54	27	19	0	
		46	38	8	8	
	③ 職員一人一人の意見や考えが尊重されている。	42	46	12	0	
		25	58	13	4	
	④ 園長は、リーダーシップを発揮している。	73	27	0	0	
		42	50	8	0	